



市内を照らす幻想的な明かり

2月8日～17日の10日間、第21回小樽雪あかりの路が開催されました。メイン会場の小樽運河や旧国鉄手宮線などを中心とした市内各所に、今年も多く多くの市民や観光客が来場。会場を訪れた皆さんは、スノーキャンドルやワックスボウルの明かりに照らされる中で、家族や友人たちと写真撮影をするなどして幻想的な世界を楽しんでいました。



「広報おたる」に掲載したあなたの写真を差し上げます。ご希望の方はお申し出ください。



しつけの「ワン」ポイント

1月19日、保健所で犬のしつけ教室を開催しました。今回は「災害時に役立つ犬のしつけ」をテーマに、ペットと一緒に避難する際の備えや、避難先で安全に犬を待機させるためのしつけについてレクチャー。参加した皆さんは、デモンストレーション犬の実演を見ながら、講師の話真剣に聞いていました。

姉妹都市からアンニョンハセヨ

2月7日～10日の4日間、姉妹都市の韓国ソウル特別市江西(カンソ)区から代表団が来樽しました。代表団の皆さんは、小樽雪あかりの路の開催に合わせて小樽市を訪れ、8日に行われたオープニングセレモニーに参加。似鳥美術館をはじめとした市内施設の見学などを行い、小樽市での滞在を楽しんでいました。

